

# グループホーム馬借 ユニット

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		「和を重んじみんなで楽しく共同生活を送る」を理念とし、入居者の病状悪化をなくすため、個人を尊重し、日々行動している。月ごとの行事を行い、柔軟な対応で接し、月1回全体ミーティングで意識向上を図っている。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	同上	同上
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	2ヶ月に1回運営推進会議を行い、入居者家族や民生委員、包括支援センター職員に参加していただき、グループホームの現状を知ってもらい、理解していただいている。また、近隣の保育園の行事に参加したり、併設のデイケア利用者ともふれあって、グループホームのことを知っていただけるよう、日々取り組んでいる。	引き続き、運営推進会議や、近隣施設との交流の中で、グループホームについて理解をふかめていただけるよう努めていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	グループホームの近所には、巨過市場や公園など、地域住民と接する場所が多々ある。頻繁に散歩に行き、顔なじみになり、気軽に話しかける関係ができた。	引き続き、散歩や挨拶を欠かさずに、このまま関係を継続していきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月1回行事を行い、グループホーム外での活動を心がけている。祭りの時は近くまで見にいっている。それを、「1ヶ月間の思い出」として、毎月グループホーム便りを作り、2ヶ月に1回の運営推進会議で配布している。散歩の時には、近隣の人に挨拶し、スタッフ一同、日ごろからできるだけ地元の日々と交流できるように心がけ、開かれたグループホームを目指している。	町内会の行事に参加していきたい。

## グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	併設のデイケアや介護支援センターと共同で、イベントを開催し、その時に介護相談を行っている。		地元の人とのふれあいができるようなイベントを開催していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価や自己評価の結果を活かし、よりよいグループホームを目指し、話し合い実行している。		引き続き、よりよいグループホームを目指し、評価を活かしていきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実際に仕事をする上で困っている事例を取り上げ、助言をいただき、それを取り入れ、サービスの向上に活かしている。		引き続き、運営推進会議で事例を取り上げ、助言を頂き、サービス向上に活かして行きたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生活保護受給者の場合、グループホームで共同生活をする上で問題が発生した時に、保護課の担当のケースワーカーと連絡をとり、対応について電話や訪問して話し合い、対応している。		困ったことや運営上わからないことは、積極的市町村に相談していきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見や権利擁護については、研修会に参加し、職員全員が資料を回覧している。入居者家族には必要と思われる場合は、助言している。保護の方の場合は、ケースワーカーや、関係者に相談している。現在の入居者のなかには実際に利用している方もおられる。		資料の回覧だけでなく、今後は研修に行き、勉強会というかたちをとり、職員全員で勉強していきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し、資料を全職員が回覧し、勉強している。ユニットミーティングと全体ミーティングで入居者の状態について共通理解を徹底している。		同上

## グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前に見学に来ていただき、その時に疑問点や不安について尋ね、説明し、理解していただいている。契約の際も同様で、疑問点や不安などをお聞きし、対応している。また、入居後についても聞きやすい環境づくりに配慮している。</p>		<p>引き続き、入居前に見学に来ていただき、入居前に少しでも不安なことが解消できるように説明していきたい。また、契約時の説明もわかりやすく説明できるように配慮していく。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情箱を設置し、言いづらいことは苦情箱に入れてもらうようにしている。また、話をしやすい環境に心がけているためか、直接言われることもある。その時は、話を聞き迅速な対応を心がけている。運営推進会議で入居者代表が意見、苦情、不満などを表せる機会を設けている。</p>		<p>引き続き、意見や不満、苦情が言いやすい雰囲気や崩さず、入居者の表情や受け答えなどの反応を見落とさず、何か言いたいような雰囲気であれば、声かけし、ゆっくりと話を聞くようにする。また、迅速な対応を心がけていく。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ケアマネジャー、ソーシャルワーカーにて定期的に会話できる体制をとり、報告している。また、介護職員も積極的に家族とコミュニケーションを計っている。面会が少ない家族には、手紙で状態報告したり、緊急時は電話で行っている。金銭管理については、毎月の収支をまとめ、領収書と一緒に家族に渡している。職員の移動については、運営推進会議で報告したり、面会時に伝えている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月の支払い時や、面会の時にケアマネジャー、ソーシャルワーカーが中心になって話を個別に聞いている。また、運営推進会議に参加していただき、そこで、意見、不満、苦情を言う機会を設けている。そこで上がった意見や不満、苦情をミーティングで話し、運営に取り入れている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月2回、ミーティングを開き、職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。また、ミーティングだけではなく、個別で言ってきた意見や提案にも答えている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じてミーティングを開き、解決している。緊急な場合は、状況に応じて柔軟に対応している。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員とのコミュニケーションを大切にして、働きやすい環境づくりに心がけ、異動や離職を最小限に抑え、年々減少している。入居者へのダメージについては、わかりやすく説明し、納得していただくことで、混乱しないようにしている。</p>		<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>

## グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<b>人権の尊重</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員に対しても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。	採用にあたっては、排除することなく、面接して、経験やその人のキャラクター等から決定している。職員に対しても、仕事をする上での意見や要望などが言いやすい環境をつくり、働きやすく、また、個人の能力を發揮できるように配慮している。		現状通り取り組んでいきたい。
20	<b>人権教育・啓発活動</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。	研修に参加しているが、職員全体に伝わっていないので、勉強会のとき等全体的に伝わるようにする。		人権教育、啓発活動に積極的に取り組んでいきたい。
21	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修、勉強会に積極的に参加できるように研修のお知らせをし、出来るだけ参加してもらうようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
22	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加し、同業者と交流の機会を持ちネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じてサービスの質を向上させていく取り組みを行なっている。		今年からグループホーム協議会に参加できるようになったので、同業者との交流を図り、職員に伝えて行き、サービスの向上ができるようにしていきたい。
23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	積極的にコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りに勤めている。		現状通り取り組んでいきたい。
24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	入居者に職員一人ひとり担当をつけることで、責任感をもたせ、達成の喜びを味あわせる。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初回の面接で、ケアマネジャーとソーシャルワーカーがゆっくりと聞きニーズを把握し、受け止めることができるように努力している。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
26	<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>見学や、初回面接でケアマネジャーとソーシャルワーカーがゆっくりと話を聞き、ニーズを把握し、受け止めることができるように努力している。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
27	<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初回面接と契約をケアマネジャーとソーシャルワーカーが必ず行い、家族や入居者と話し、ニーズは何かを見極めている。そのニーズを担当者会議の議題にあげ、ニーズに対するサービスを話し合い、プランに反映させ、実行している。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>
28	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に必ず見学に来てもらい、入居までに時間がある場合は、何度か来苑をすすめ、徐々になじめるように助言している。また、まず入居者本人に安心していただくために、納得する説明をして、職員の方向性をひとつにして場の雰囲気になじめるようにしている。</p>	<p>現状通り取り組んで行きたい。</p>

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人とのコミュニケーションを大切にし、相手の立場に立って考え、本人に対して傾聴し、尊敬の心で接している。また、本人の得意とされる事を職員に教えていただけるような場面作りを行い、よい関係作りに努めている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
30	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事やレクレーションなど、家族と共に楽しく過ごす時間を作り、良い関係作りに努めている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
31	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>今までの生活暦を理解し、良い関係が保てるように努力している。また、本人・家族・スタッフがひとつになり、レクレーション行事に参加し、一緒に楽しんでいる。いつでも面会できるようにしている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
32	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の思う気持ちを大切に、会話にて気持ちを理解できるように努力している。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
33	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>状況を見て、スタッフが間に入り、会話を盛り上げ、笑顔を大切に接し、楽しくマイペースな生活が送れるように努めている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
34	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>近所で会ったら話しかけ、様子を伺って気遣い、関係がなくならないように大切にしている。また、在宅復帰されても、再度居室に空きがあれば入居できることを伝え、空きがない場合でも、状態に応じて相談を受け付け、本人・家族が満足したサービスが継続できるように支援している。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1. 一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>毎月2回ミーティングを行い、それ以外に様子がおかしいと感じたときには緊急でミーティングを開き、入居者一人ひとりの把握に努め、それをプランに反映し、できるだけ入居者の希望に沿った生活ができるように勤めている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>アセスメントや日常の会話から個人の背景を探り、担当者会議で話し合い、プランを立てている。また、月2回のミーティングや緊急ミーティングでこれまでのサービス利用の経過について話し合い、職員全体で一人ひとりの把握に努めている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>月2回のミーティングや緊急ミーティングで話し合い、職員全員で一人ひとりの把握に努めている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族より話を聞き、現状の問題点、意見を聞き把握する、スタッフより現在の身体状況、生活状況に関する話を聞き生活援助プランに記入。アセスメントを聞き問題点を探し、スタッフ間で話し合い介護計画を作成している。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態の急変時、身体状況、精神状況に著しい変化があった場合で入院に至った場合など家族に連絡しプランの変更を行なう。退院前にスタッフと話し合い、ニーズを探し現状に即した計画を作成する。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>

## グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護日誌があり、それを毎日記入している。月2回のミーティングで入居者の状態報告をすることで、情報を共有している。		現状通り取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医学的管理が必要な入居者には、併設の医院で治療したり、特別な機能訓練が必要な人については併設のデイケアにて、理学療法士によるリハビリをうけることができる。その他、本人や家族の要望には出来るだけこたえることができるように努めている。		現状通り取り組んでいきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	子どもが好きな入居者が多いので、近隣の保育園と交流し、子どもとのふれあいの時間をつくっている。		本人の必要性を考え、必要に応じて、地域資源を活用し、今まで以上に開かれたグループホームを目指していきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在他のサービスを利用している入居者はいないが、併設のデイケアへ、理学療法士のリハビリを受けに行っている入居者はいる。また、入居者の事に関して、併設の介護支援センターのケアマネジャーに相談し、助言してもらうこともある。		本人の必要に応じて対応していきたい。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議にて包括支援センターの方との意見交換や助言を頂き、それをプランに反映させている。		現状通り取り組んでいきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日々の状態を把握し、状態に変化があれば本人・家族に連絡し、係り付け医受診する。その後状態を把握した上で家族と話し合い、病状にあった病院を紹介してもらい受診するようにしている。		現状通り取り組んでいきたい。



## グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	日々の生活を元に、変化に敏感に反応し、少しでもおかしいと思った時は、併設病院の院長に相談したり、認知症が悪化したと思われる入居者に対しては、院長から家族にCTを勧めていただき、認知症専門医と院長が協働で診断し治療をしている。		現状通り取り組んでいきたい。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当ホームや、併設病院の看護師と一緒に入居者の日常の状態把握を行い、医学的視点から見た助言をもらっている。		現状通り取り組んでいきたい。
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者が入院した時は、病院の医師や看護師、ソーシャルワーカーと連携し、状態把握を行い、できるだけ早く退院できるようにしている。また、入院に備え、連携がとりやすいようにMSWの勉強会にソーシャルワーカーが参加し、関係を築いている。		現状通り取り組んでいきたい。
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師と相談し、本人の意思を確認し、家族と話し合い、方針を決め、情報を共有している。		現状通り取り組んでいきたい。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ミーティングで話し合い、できること・できないことを見極めている。定期的な受診で医師が病状を把握し、状態変化のときは相談している。Dr・Ns・PT・SW・CWそれぞれが専門性を活かし連携しチームで支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	病院へ入院する時は、情報提供書を病院に渡し、転院時はCMとSWが必ず付き添い、申し送りをしている。自宅に帰るもしくは、外泊する時は、薬の内服の指導や、現在の日中・夜間の事を話し、注意点を家族に伝えている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>常に入居者に対しては尊重の気持ちを持ち、笑顔で接するようにしている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>どこかに出かける時や、決め事があるときは、必ず本人の思いや希望が表せるように会話で働きかけ、本人の決定で障がある場合は、傷つけないように納得できるように説明している。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
54	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の職員の人数で多少異なるが、「今日はなにがしたいですか?」と尋ね、散歩やレクリエーションなど、入居者一人ひとりのペースにあった生活で、ゆっくり楽しく過ごしていただけるよう、心を開いた会話と支援をしている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎朝、髪をセットしている。また、外出時には、女性であれば一緒に洋服を選んだり口紅をぬったり、眉毛をかいたりして、おしゃれをしている。男性も同様、毎日のひげそりや、外出時には洋服を着替えたりして、身だしなみには気をつけている。実際、入居者さんが満面の笑みを浮かべ、鏡の前に立つことが多くなった。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
56	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ゆっくりではあるが、一緒に準備片付けを行っている。食事は調理師が作っているが、盛り付けを手伝ってもらったり、おやつと一緒に作ったりしている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>
57	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>個人個人の持病の関係で、医師の指示のもと、できる限り楽しんでいただいている。</p>	<p>現状通り取り組んでいきたい。</p>

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンをチェック表で把握し、気持ちよく排泄していただけるように、戸を閉めるなどプライバシーに配慮し、失敗しても本人の自尊心を傷つけないように、接している。オムツの使用枚数を減らせるように、本人にあったオムツを使うようにしている。ゆっくりあせらずに行っている。		現状通り取り組んでいきたい。
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は決まっているが、時間は、体調をよく観察し、一人ひとり希望やタイミングに合わせて入浴していただいている。体調や用事などで、その曜日に入浴できなかった入居者には、別の日に入浴していただいている。		出来る限り本人の希望にそえるよう努めたい。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に応じた室温調整や、寝具の清潔に努めると共に、一人ひとりの希望や体調に応じて、昼寝をもらったり、居室で休息していただいている。また、昼間寝ると、夜間眠れない入居者は、できるだけ日中は体を動かしていただき、夜間ゆっくり安眠できるように支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や好きなことを職員が把握し、日々の生活の中での役割や楽しみで生活に変化が出来るように支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	散歩にいった時の買い物や、月1回の買い物ツアーに参加していただき、金銭感覚がなくなるように支援している。また、家族からおこづかいをお預かりする時は、本人に受領書にサインしていただき、自分のお金ということを認識していただいている。		現状通り取り組んでいきたい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の散歩や、月のイベント、ご家族の協力を得ながら、希望に沿って外出できるように支援している。		現状通り取り組んでいきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎月の行事で、普段散歩ではいけない所に外出している。また、その行事にご家族にも声かけし、参加していただくこともある。		現状通り取り組んでいきたい。

## グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	通信は自由にいただいている。自分で電話をかけることが出来ない入居者に対しては、希望時に職員が手伝っている。手紙を送りたい時は、ポストまで職員と一緒に行き手紙を出している。		現状通り取り組んで行きたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	「開かれたグループホーム」を心がけているので、玄関前に花を植え明るくしたり、いつも笑顔でまた、歓迎の心で挨拶したりと、気軽に訪問していただけるよう、職員一同工夫しています。		現状通り取り組んで行きたい。
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	やむを得ず身体拘束をする場合は家族の同意を得た上で行うようにしている。現在、身体拘束は行っていない。		今後も身体拘束をしないケアに取り組んでいきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者、職員共に鍵をかけることの弊害を理解しており、入居者に自由に過ごしていただくため、鍵をかけることなくオープンな状態で過ごしていただいている。当グループホームは、街中にあり、夜間も車の通りがあるため、夜間のみ鍵をかけ、入居者の安全確保に努めている。		現状通り取り組んで行きたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	安全を第一に考え、入居者の様子を把握している。		現状通り取り組んで行きたい。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各入居者担当の職員が環境整備を一緒に行い、安全に過ごすことができるように、一人ひとりのレベルに合わせて、危険を取り除いている。		現状通り取り組んで行きたい。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者一人ひとりの事故のリスクについて、それぞれの専門職から助言をもらい、ケアの方法について学び、また、リスクマネジメントの勉強会を行い、事故の防止に取り組んでいる。		現状通り取り組んで行きたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	対応マニュアルの作成、避難訓練時に災害に関する初期対応の定期講習会を行っている。		火災訓練時に急変時の対応や応急処置について訓練をおこなっていきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回災害訓練を実施し、昼夜を問わず入居者が避難できるように訓練している。また、回覧板を持っていったり、運営推進会議に参加していただき、近隣の方とも顔なじみになるよう働きかけている。		現状通り取り組んで行きたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族が面会に来た時に昼夜の状態を話し、起こりうるリスクについても話をしている。リスクに対する対応については、家族にも相談し、入居者自身に圧迫感のない生活をしていただいている。		現状通り取り組んで行きたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期発見できるように、日々の状態把握に努め、体調の変化を発見した時には、併設医院院長もしくは、かかりつけ医に相談し、対応していただいている。		現状通り取り組んで行きたい。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人ひとりの薬の用法についてわかりやすいようにカルテにはさみ、様子観察を重視している。		すべての薬について理解できていないものや、記録をみないと答えられないものもあるので、理解に努めていく。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防と、運動能力の維持を兼ね、毎日体を動かすよう、毎朝体操したり、便秘解消に良いとされる食材でジュースを造り、おやつに出したりしている。排便チェックもしており、便秘がちな入居者は院長と相談し、薬を処方していただいている。		現状通り取り組んで行きたい。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1日3回食後に口腔ケアを行っている。自分で出来ない方は、介助している。		現状通り取り組んで行きたい。

グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに応じて食事の量や水分量を調節している。		現状通り取り組んでいきたい。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルをつくり、手洗い、うがいに注意し、実行している。また、トイレや手洗い場に手洗いの方法や汚染した時の対処法をいつでも目につく所に貼っている。		現状通り取り組んでいきたい。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理師が出勤前にその日必要な食材を買ってきてその日のうちに使っている。調理用具は、使用前に消毒し、食中毒を防いでいる。また、ガスコンロや換気扇も清潔を保つため、きれいに掃除している。		現状通り取り組んでいきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先に花を植え、かわいい表札を作り、親しみやすい雰囲気作りに努めている。また、入居者にとっても家がわかりやすいように工夫している。安心して出入りできるように昼間は鍵をかけることなくオープンにしている。		現状通り取り組んでいきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者にとってなじみやすい音楽や、心地よい照明、室温に配慮している。生活観や季節感は、観葉植物や家具、飾りつけなどのインテリアにて工夫している。		現状通り取り組んでいきたい。
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間に、ダイニングテーブルやソファがあり、それぞれ思うがままに生活していただいている。		現状通り取り組んでいきたい。

## グループホーム馬借 ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好きなもの(写真や小物)、入居前に使っていた収納家具、布団などをもってきていただき、落ち着いて、居心地良く過ごしていただけるように工夫している。		現状通り取り組んでいきたい。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は1時間に1回している。また、尿臭などの気になるのにおいに対応するために、また、入居者がリラックスできるように、アロマを利用することもある。温度調節は、入居者に確認し、その都度調節している。		現状通り取り組んでいきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者の居室の場所を状態に合わせ、自立した生活が送れるように考えている。家具の配置にも配慮し、安心して生活できるよう工夫している。また、身体機能が低下しないように、散歩や朝の体操、声を出す体操など、生活の中に運動を多く取り入れている。		現状通り取り組んでいきたい。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	残存能力を活かせるように、担当者会議や月2回のミーティングで、話し合い、また、専門職から助言をうけ、出来るだけ自立した生活ができるようにプランを作成し、実行している。		現状通り取り組んでいきたい。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先でガーデニングを楽しんだり、夏にはそうめん流しや花火をして楽しめるように活かしている。		現状通り取り組んでいきたい。

グループホーム馬借 ユニット

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



## グループホーム馬借 ユニット

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

### 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎月行事を行い、出来るだけ多く外出するようにしている。
- ・職員は皆、入居者の事を親身になって考え、やさしい笑顔で接している。笑顔を絶やさない。
- ・レクリエーションや散歩など入居者の娯楽の面に力を入れており、ゆっくりとマイペースに楽しく生活を送っていただき、また、たくさん笑っていただけるように支援している。